

# 環境報告書 2007

---

## 目次

ごあいさつ	・・・・・・・・・・	1
環境マネジメントシステム	・・	2
環境への取り組み	・・・・・・・・	4



**パジェロ製造株式会社**

## ごあいさつ

私達は、自動車産業に携わる者の一員として、自動車の生産を通じて社会の発展に貢献し、人々に便利で快適な生活を提供してきました。しかしその一方では、エネルギーその他の資源の消費、廃棄物をはじめとする環境負荷物質の排出など、環境に影響を与えています。

近年は、地球温暖化をはじめとする地球環境悪化の防止や資源の有効活用など、環境問題はグローバルなものとして、企業に対する社会的要求はますます増大しています。

私達は、企業の社会的責任（CSR）のひとつとして地球環境の保全は重要な責務であるという認識のもとに、地球温暖化防止(省エネルギー)、化学物質の削減、ゼロエミッション、リサイクルの促進などに積極的に取り組んでいます。

今後もお客様志向を念頭に、良き企業市民として地元で愛される企業をめざして、地域の人々や社会、経済との調和を図りながら、環境保全への取り組みを一層推進していく所存です。

本報告書を通じてパジェロ製造の環境への取り組みをご理解いただき、皆様からのご意見、ご指導をお寄せ頂ければ幸いに存じます。



取締役社長

増田 勝

パジェロ製造は、社をあげて環境負荷の低減活動に取り組んでいます。活動を確実に実行するために、環境マネジメントシステムを継続的に改善しています。

## 環境方針

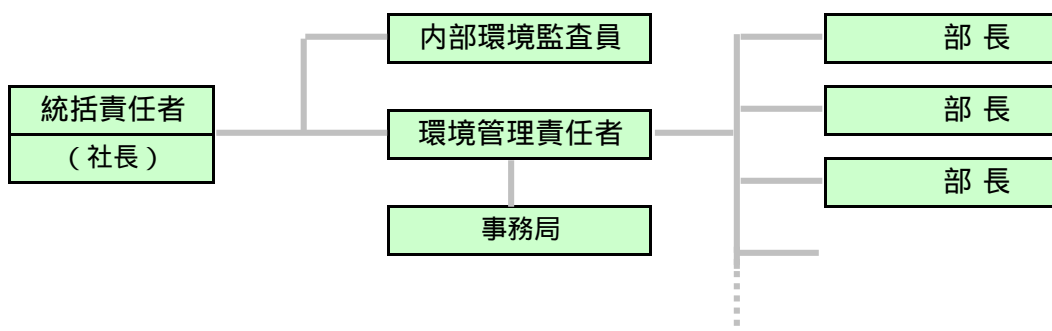
### パジェロ製造 環境方針

当社は、自動車及び車体並びにエスカレータートラスを生産する中で、地球環境問題が重要な課題と考え、以下の環境方針を定め、当社に関連する業務のために構内で働く全員に周知徹底する。

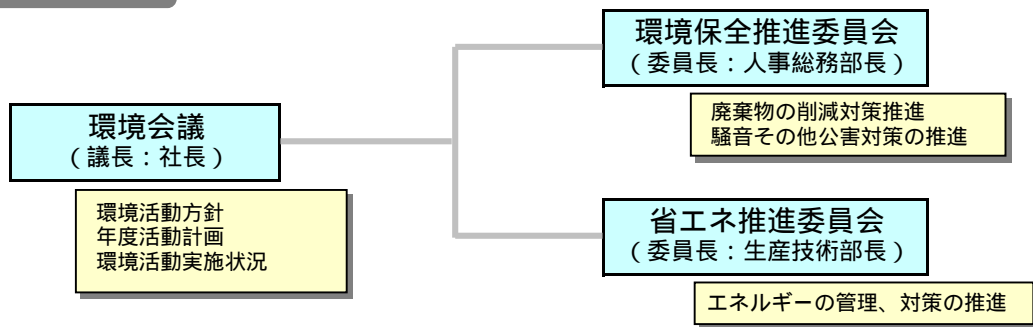
1. 当社は企業活動の環境影響評価を行い、環境を保全し、改善する仕組み作りによって、継続的に環境負荷の低減に努める
2. 事業活動のなかで環境に関係する法規則及び地域との協定を順守する
3. 技術の改善によって、プロセス、発生源での対策に努める
4. 省エネルギー化、廃棄物の低減をすすめ、環境汚染の予防に努める
5. 自主管理活動によって組織としての環境保全活動の能力を高める
6. 地域および地域の人々との積極的なコミュニケーションに努める

全社的に環境保全を推進

## 環境機能組織



## 会議体



## ISO14001への取り組み

パジェロ製造では、環境保全の取り組みを強化するために、1999年7月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、温暖化対策など、いろいろな活動をしています。

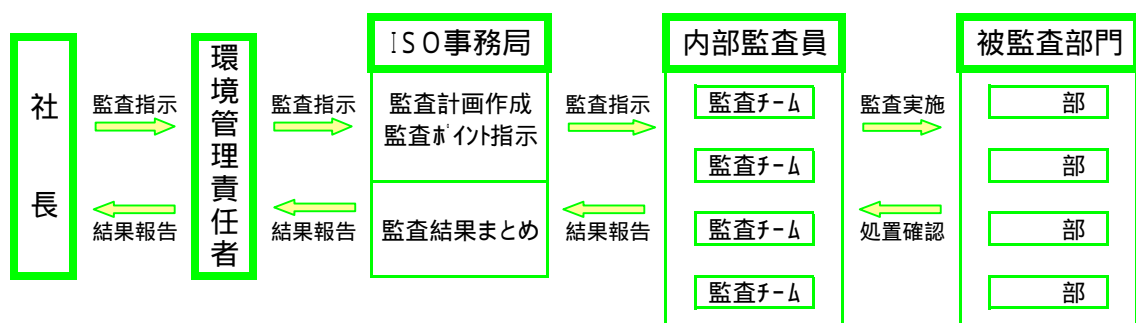
また、岐阜県が実施している「環境配慮事業所登録制度」により、「岐阜県環境配慮事業所」として登録されています。(岐阜県環境配慮事業所登録制度の詳細については [http://www.gifu-ecopavilion.jp/ecopavilion/bbs/e\\_koujyo/index.htm](http://www.gifu-ecopavilion.jp/ecopavilion/bbs/e_koujyo/index.htm) をご覧ください)

## 環境監査

環境マネジメントシステムが有効に機能しているか、環境保全活動が計画どおり実行されているかを確認するために、毎年、内部監査と第三者機関による外部審査を受審しています。

内部監査では、社内外の教育を受け認定された監査員がチェックリストに基づいて確認を行い、課題を抽出して、環境マネジメントシステム及び環境保全活動の改善を行っています。

2007年度のISO14001外部審査では、全体として、環境マネジメントシステムは適切に運用されていると評価され、認証を継続されました。更に高いレベルでのシステムの運用を目指して努力していきます。





当社はパジェロ・デリカを主力とした輸送機器(自動車)を製造し、その製造過程において発生する副産物(環境負荷)の低減に積極的に取り組んでいます。

## 廃棄物の削減

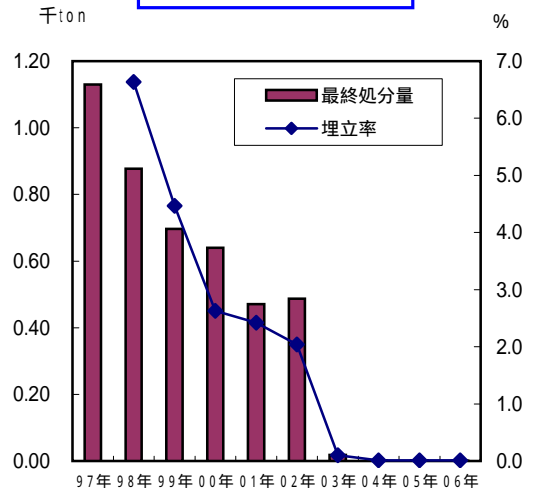
廃棄物に関しては、環境保全推進委員会を組織して、現場の活動を支援しています。

2003年度下期に、工場及び事務所で発生する不要物・廃棄物の最終処分量(埋立量)のゼロレベル化を達成し、その後は埋立てが増えないように維持管理をしています。

発生源での対策としては、生産工程で発生する不良品の低減、ペーパーレス化の推進などに取り組んでいます。発生する廃棄物を全くなくすることはできませんが、少なくする努力と埋立てをしない考えで活動に取り組んでいます。

そのほか、外部からの持ち込み物の持ち帰り運動など、従業員全員の参画と意識の向上により、成果をあげています。

廃棄物埋立量



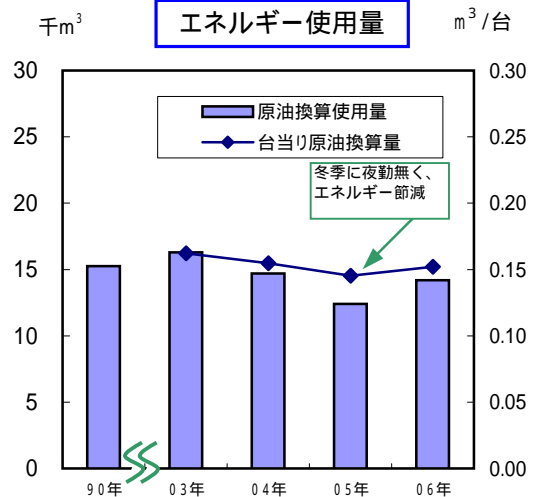
## CO<sub>2</sub>の削減(省エネルギー)

エネルギーに関しては、省エネ推進委員会を組織して、現場の活動を支援しています。

当社では、生産活動に、電気、重油、LPGを使用しています。これらのエネルギーの使用は、地球温暖化の原因のひとつであるCO<sub>2</sub>の排出に直結しています。当社での地球温暖化対策はすなわち、エネルギーの使用量の削減ということであり、その削減のために各工程での設備管理の最適化や、冷暖房温度の管理、余剰・不要照明の排除など地道な活動を続けています。06年度には省エネ型のボイラの採用や、屋上緑化システムによる冷房用エネルギーの節減などCO<sub>2</sub>の排出低減に努めています。

また、構内物流においては、運搬車等の走行距離を削減する活動を進めています。

エネルギー使用量



### 屋上緑化システム

2006年11月施工 面積 520m<sup>2</sup>

#### 特徴

- ・常緑性改良芝「ピクトール」により、緑化保持期間が長い
- ・天然素材や、リサイクル素材を使用しており、環境に優しい
- ・灌水(水やり)は、アーケード部に降った雨をタンクへ貯留し、土壌の乾燥状況に応じ、自動的に必要最低限の灌水をムダ無く行う

#### 効果

- ・屋上の温度上昇抑制によるヒートアイランド現象の緩和
- ・電力換算: 10303KWh/年間 CO<sub>2</sub>換算: 3890Kg/年間
- ・緑による心のやすらぎ、いやし効果



## 化学物質

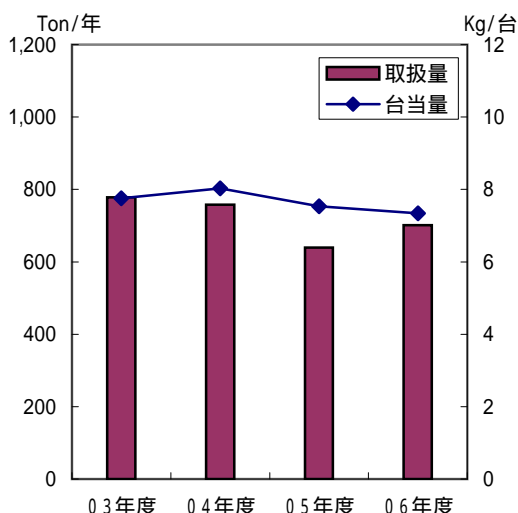
2002年度から、法律により、有害性のある化学物質の環境への排出・移動量に関する報告が義務付けられました。

当社では、法律の施行に先立ち1998年度から岐阜県が行ってきたP R T R<sup>\*</sup>パイロット事業に参加し、化学物質の排出・移動量の把握を行うとともに、化学成分の情報の整備に努めてきました。

2006年度（2007年6月報告実施）の排出・移動量の実績は下記のとおりです。排出・移動量の内訳は、大気・川など環境への排出が26%、リサイクルや製品として出た割合が74%でした。

排出量の多いキシレン・トルエンは塗料・シンナーに含まれています。所用量低減活動や、材料の見直しを行い、低減に努めています。

環境汚染物質取り扱い量



(2006年度詳細実績)

単位：Ton/年

物質番号	化学物質名	化学物質取扱量	排出量			移動量	その他	
			大気	河川等	土壌		廃棄物	リサイクル
1	亜鉛化合物	8.6		0.0		1.0		7.5
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	7.1				0.2		6.9
40	エチルベンゼン	87.3	49.3				32.7	5.3
43	エチレングリコール	352.4						352.4
63	キシレン	160.9	96.3				41.6	23.0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	5.8	2.8				3.0	
227	トルエン	72.0	27.0				10.7	34.3
232	ニッケル化合物	1.5		0.2		0.8		0.5
299	ベンゼン	2.4	0.0					2.4
307	ポリオキシエチレンアルキルエーテル	1.3		0.1		1.2		
311	マンガン化合物	2.2		0.1		0.4		1.7
合計		701.5	175.4	0.4		3.7	88.0	433.9

注) P R T R (Pollutant Release and Transfer Register)

< 環境汚染物質排出移動登録 >

対象となる化学物質ごとに、工場から環境中へ排出する量や廃棄物として移動する量を調査して、結果を行政に報告する制度

・表中の物質番号は政令で定められた第一種指定化学物質の番号を示す

### 有害物質の削減

鉛、水銀、六価クロム、カドミウムの4つの環境負荷物質は欧州で原則使用禁止（猶予期間あり）となり、日本自動車工業会が削減の目標を設定しています。

当社はこれら環境負荷物質の使用ゼロに向けて努力を続けていきます。

### VOCの削減

VOCとは、揮発性を有し大気中で気体になる有機化学物質のことで、シンナー等の溶剤に多く含まれています。塗装工程での塗料の塗着効率の改善や色替え時の洗浄方法の改善など、溶剤の使用量の削減に努めています。

親会社である三菱自動車工業（株）と合同でVOC低減の作業グループを編成し改善活動を推進中です。

## 環境に優しい事業活動

### グリーン購入、他

グリーン購入とは、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを優先して購入することを言います。当社ではOA紙は全て再生紙を使用しています。その他の事務用品を主体とする購入品についても、環境配慮製品を選択するように努めています。

また、主な取引先に対して、構内でのアイドリングストップや騒音への配慮をお願いする等の働きかけを行っています。

## 地域との交流・コミュニケーション

### 工場周辺への配慮

工場は住宅と近接しているため、地域の皆様の生活環境を乱さないように配慮をしています。特に問題となる工場の騒音については、自主管理基準を定めて管理しています。騒音規制区域を設定して注意を促し、規制区域内での作業を限定しました。また、運搬車両の運転速度の体感教育を実施したり、従業員の意識付けにも努めています。

苦情が発生した場合には、社内規定に基き、迅速・適確に対応できるように体制を整えています。

### 地域との交流

地域社会との交流活動は、周辺自治会との定期交流、通学児童の交通安全指導、パジェロ広場・グラウンドの提供、老人ホームとの災害救助活動協定、ファミリー祭の開催、工場見学の受け入れ、各種イベントへの出品参加、工場周辺の清掃などを通じて積極的に取り組んでいます。



(ファミリー祭)

### 事業所内の美化、環境改善

職場の自主活動として、花・緑いっぱい運動を展開し、潤いのある環境の創出に取り組んでいます。

また、環境パトロールや安全巡視などで事業所内の4S（整理、整頓、清掃、清潔）をチェックし、きれいな職場環境の維持に努めています。

更に、作業環境の定期測定、定期健康診断、医師による職場巡視などを実施し、快適で健康的な職場環境の実現に取り組んでいます。



(本社事務所前)

NEW



パジェロ

### 環境報告書

パジェロ製造株式会社  
岐阜県加茂郡坂祝町酒倉2079番地  
発行 2007年8月

発行部署  
生産技術部生産技術管理グループ  
TEL 0574-28-5100(代)  
FAX 0574-28-5119

NEW



デリカD:5